

# Fairy TopIX 2013 候補作一覧

## ※推理将棋・プルーフゲーム部門 候補作一覧

---

推1～推39	詰将棋メモ 出題	P2～P25
推36～推40	WFP作品展	P26～P33
推48～推62	その他	P34～P47

候補作は全62作。2013年にネット上に掲載された作品となります。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

## 推1 2013/2 DD++作

### 大当たりの歩を求めて 20手

「あけましておめでとう。新年から何してるんだ？」

「さっき指した将棋の棋譜並べ。

棋譜見てもらえればわかるけど、今年の指し初めに相應しい奇跡が起きたんでね」

「▲7六歩△3四歩▲6六角△4四角まではともかく、その後の▲3六歩△7四歩▲4八玉ってなんだ。

しかも8手目以降に着手された駒は3枚だけじゃないか」

「でもすごいだろう、2人あわせると20手で13枚の歩を取って詰んだんだぜ」

「君らは福袋を漁る主婦か何かなのか？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第63回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲6六角 △4四角 ▲3六歩 △7四歩 ▲4八玉  
▽1七角成 ▲9三角成 △2七馬 ▲8三馬 △3六馬 ▲7四馬 △8七  
飛不成 ▲6三馬 △6七飛不成 ▲5三馬 △5七飛不成 ▲4三馬 △4  
七馬 まで20手

正解者：21名

## 推2 2013/2 チャンプ作

### 2013(巳年)指し初め式の一局とは？18手

「毎年恒例の指し初め式に参加してきたんだって？」

「それがさ、僕が3手目に7筋の歩をぶつけてトイレに立って帰ってきたら終わってたんだよね」

「せっかく参加できたのにどんな将棋だったのか解らないまま帰ってきたの？」

「一緒に参加してた友達の話では18手で後手側が詰まして勝ってたらしいんだけどね」

「あら～そんな短手数で終わっちゃったんだ、内容については何か聞けなかったの？」

「駒成りは九段目に歩が成っただけって聞いたよ」

「ということは先手側はその“と金”にやられたのかな？」

「そういや4回連続“と金”で金駒（かなごま）を取ってたって言ってたな」

「となるとこの手順だね」

「なるほど、こんな将棋だったのか」

「これは有名な【マムシのと金】だね！」

「意外にも巳年に相応しい将棋だったんだね（笑）」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第63回出題 第2番>

▲7六歩 △7四歩 ▲7五歩 △3四歩 ▲6六歩 △同 角 ▲7四歩 △7八歩 ▲6  
八銀 △7九歩成 ▲4八玉 △6九と ▲5九銀 △同 と ▲3八玉 △4九と ▲5六  
歩 △3九と まで18手

正解者：21名

### 推3 2013/2 渡辺作

歩と駒成 10手

「さっきの将棋34歩に対して成る手で応じていたよね」  
「うん。3回目の成る手より後にも歩の着手があったよ」  
「それで結局どうなったの？」  
「10手目25の着手で詰んだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第52回出題 第3番>

▲7六歩 ▼3二飛 ▲3三角成 ▼同 飛 ▲5八玉 ▼3七飛成 ▲3四歩 ▼7七角成  
▲4六歩 ▼2五角 まで10手  
正解者：16名

## 推4 2013/3 渡辺秀行作

4箇所着手3局(A)

17手

A氏「昨日、最初から最後までたった4箇所しか指さない珍しい将棋を見たんだ」

B氏「偶然だね、僕もだよ」

C氏「俺もだ」

A氏「17手目に後手玉が詰んだんだけど、駒成が2回あって少なくとも一方は、直前の相手の着手を取る手ではなかったな」

B氏「僕のは20手目に先手玉が詰んだときに、初期配置から先後の向きだけが逆になっている駒があったんだ」

C氏「俺のは25手で詰むまでに『同』と付く着手は5回だったけど不成の着手はなかったね。」

B氏「うん、僕のは先手は後手の駒成の着手を『同』と取ったんだけど、その駒を打ったら直に後手に『同』と取り返されてそのまま先手が取り返すことはなかったんだ。先手は同じ種類の駒を4連続で着手したよ」

C氏「俺のは後手が最後から2～4番目に着手した駒は順に、角、金、角だったね」

A氏「それで後手が最後に着手した駒は？」

C氏「それは言えないね」

<詰将棋メモ 第64回出題 第1番>

▲7六歩 ▼4四歩 ▲同 角 ▼4二飛 ▲5三角成 ▼4四飛 ▲同 馬 ▼4二銀 ▲5三飛 ▼同 銀 ▲同 馬 ▼4二金 ▲4四銀 ▼5三金 ▲同銀成 ▼4四角 ▲4二金 まで17手

正解者：16名

## 推5 2013/3 渡辺秀行作

4箇所着手3局(B)

20手

64-1と同じ会話文

<詰将棋メモ 第64回出題 第2番>

▲6八飛 ▼3四歩 ▲2八飛 ▼7七角不成 ▲6八飛 ▼同角成 ▲同銀 ▼2八飛 ▲7七銀 ▼6八飛不成 ▲2八銀 ▼同飛不成 ▲6八銀 ▼同飛不成 ▲2八角 ▼同飛不成 ▲6八金 ▼7七銀 ▲同 金 ▼6八銀 まで20手 正解者：15名

## 推6 2013/3 渡辺秀行作

4箇所着手3局(C) 25手

64-1と同じ会話文

<詰将棋メモ 第64回出題 第3番>

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角成 △同 飛 ▲3六歩 △同 飛 ▲3三歩  
▽7六飛 ▲3二歩成 △3三桂 ▲同 と △3六飛 ▲3二と △3三飛  
▲同 と △3二銀 ▲同 と △3三角 ▲3六飛 △3二金 ▲3三飛成  
▽7六角 ▲3二龍 △3六歩 ▲3三角 まで25手

正解者：8名

## 推7 2013/4 チャンプ作

縦横斜打 弟作 9手

父「二人ともゲームばかりしないで、たまには推理将棋の問題でも作ってみたらどうだ？」

弟「え～今いいとこなのにな。」

兄「面白いかもよ、何手で作ればいいのか？」

父「そうだな、9手で作ってごらん。条件は少し変わってて面白い方がいいな。」

・・・数分後・・・

弟「パパ、できたよ。」

父「お、随分と早く出来たみたいだな、どれどれ見せてごらん。」

弟「えーっとね。」

<詰将棋メモ 第65回出題 第1番>

▲7六歩 △6二金 ▲3三角成 △6一玉 ▲2三馬 △9九角不成 ▲4  
一馬 △7二香 ▲5一金 まで9手

正解者：19名

推8 2013/4 チャンプ作

縦横斜打 兄作 9手

父「なるほど、こんな短時間で作った割には、なかなかの出来だったな。」

兄「でも、簡単だったよ？」

弟「そんなことないもーん。」

兄「僕ならもっといい作品に出来るよ。」

弟「じゃあ作って見せてよー。」

・・・数分後・・・

兄「出来たよ。」

父「お、そうか、どれどれ見せてごらん。」

兄「これだよ。」

<詰将棋メモ 第65回出題 第2番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △同 飛 ▲5二角 △7二金 ▲4一角  
不成 △4二角 ▲5二金 まで9手

正解者：18名

## 推9 2013/4 チャンプ作

### 縦横斜打 父作 9手

弟「ボクが考えた条件をマネするのはズルイ〜。」

父「まあまあ、しかしこれは兄弟作としては面白い作りになったんじゃないかな。」

兄「それなら、お父さんも作ってみてよ。」

父「ほほう、そうきたか。どれどれ、それなら一つ作ってみるとするか。」

・・・数分後・・・

父「よし、これで完成。」

弟「見せて見せてー。」

父「悪いけど父さんもマネさせてもらったよ。」

兄「似たような問題が3つも揃っちゃったね（笑）」

弟「誰の問題が一番いい出来だったかなあー？」

父「解答者に尋ねてみたらどうだい？」

<詰将棋メモ 第65回出題 第3番>

▲7六歩 ▽3四歩 ▲2二角成 ▽3二飛 ▲5二角 ▽同金左 ▲3二馬  
▽6二角 ▲4一飛 まで9手

正解者：17名



## 推10 2013/5 DD++作

### 居玉は避けよというけれど 11手

「昨日『居玉は避けよ』って聞いたから、早速あることを試したんだ」  
「何をしたんだい」  
「後手番で、8手目までかけて玉を端に移動してみた」  
「そりゃまた極端なことを。で、どうなった？」  
「7手目から連続王手をかけられて、そのまま11手で詰まされちゃった。  
最後まで駒を成られはしなかったんだけどね」  
「あらら。何事もほどほどが一番だね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第66回出題 第1番>

▲7六歩 △4二玉 ▲3三角不成 △同 玉 ▲2六歩 △2四玉 ▲2五歩  
△1五玉 ▲1六歩 △1四玉 ▲1五歩 まで11手

正解者：18名

## 推11 2013/5 チャンプ作

### 大駒を越えて 10手

「さっきの将棋、駒を成る手も無く10手で詰んだみたいだね。」  
「ああ、大駒の1マス下にいる桂を跳ねる手が3回もあったよ。」  
「初手に玉を動かしたのは疑問手じゃないかな？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第66回出題 第2番>

▲6八玉 △7四歩 ▲7六歩 △7三桂 ▲3三角不成 △同 桂 ▲7七玉  
△3四角 ▲6六玉 △2五桂 まで10手

正解者：15名

## 推12 2013/5 橘圭伍作

### 逃避行！？ 27手

A「41金同飛42金同銀61銀成迄27手で詰んだ将棋はどうだったの？」

先手「一つの駒で3種類計9枚の駒を取って駒得になったから勝ったと思ったね。ただ、5筋で駒を取る事はなかったね。」

後手「1段目に2回だけ着手したよ。」

A「駒は何回打ったの？」

先手「丁度3回だけだね。王手も同じ回数だったよ。」

A「まだ、分からないなあ。」

後手「一局を通して、金の着手は同じ筋に2回だけだったし、歩の着手も同じ筋に2回だけだったよ。」

<詰将棋メモ 第66回出題 第3番>

▲7六歩 ♽6二玉 ▲3三角成 ♽7四歩 ▲2三馬 ♽7三玉 ▲4一馬  
♽8四玉 ▲6三馬 ♽9五玉 ▲7四馬 ♽4二飛 ▲8三馬 ♽7二銀  
▲同馬 ♽8四玉 ▲6一馬 ♽7三玉 ▲4三馬 ♽6二玉 ▲7二銀  
♽5一玉 ▲4一金 ♽同飛 ▲4二金 ♽同銀 ▲6一銀成 まで27手  
正解者：13名

## 推13 2013/6 渡辺秀行作

### 41馬迄で詰め 9手

「さっきの将棋、41馬まで9手で詰めたとき、先手は持駒なしだったよ」

「そうだね、9筋への駒打より後に5筋の着手があったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第67回出題 第1番>

▲7六歩 ♽3四歩 ▲2二角成 ♽6四歩 ▲9六角 ♽5二金左 ▲3二馬  
♽6二金寄 ▲4一馬 まで9手  
正解者：19名

## 推14 2013/6 チャンプ作

歩の行進 14手

「はい、この不成の初王手で詰みだね。」

「君（後手）は1つの筋の歩の手しか指してないのに、たった14手で負かされちゃったや。」

「歩を笑う者は歩に泣くってね（笑）」

「初手に68の升目へ指した手がマズかったかなあ？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第67回出題 第2番>

▲6八飛 △1四歩 ▲4八玉 △1五歩 ▲3八玉 △1六歩 ▲2八玉  
△1七歩不成 ▲同 香 △1六歩 ▲1九玉 △1七歩不成 ▲2八銀 △  
1八歩不成まで14手 正解者：19名

## 推15 2013/6 NAO作

十二橋巡り 12手

「6月は水郷あやめ祭り。アヤメとカキツバタとハナショウブは、よく似てるけど別の花だっ  
て知ってた？」

「花の名前は知らなかったけど、さっきの将棋、初手から4手目までは全て別の筋の手を指し  
ていたよ。初手と2手目は歩以外の手だったけど9手目は歩の着手だった。成る手はなくて、  
12手で12カ所に着手して12地点の手で詰んだんだ」

「ぎっちり、ぎっちり、ぎっちりこ。潮来花嫁さんは舟でゆく。水郷の舟旅で十二橋巡りを楽  
しんだってことだね」

<詰将棋メモ 第67回出題 第3番>

▲5八玉 △3二飛 ▲4六歩 △2四歩 ▲4七玉 △3四歩 ▲5六玉  
△3五歩 ▲7六歩 △8八角不成 ▲4五玉 △1二角 まで12手  
正解者：16名

## 推16 2013/6 橋圭伍作

死線！？ 9手

A「9手で勝った将棋はどうだったの？」

先手「全て異なる地点に着手したんだけど気付いたら終わっていたよ」

後手「4筋にだけ着手してたら詰まされていたよ」

A「四線を越えられなかったんだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第68回出題 第1番>

▲7六歩 ▼4二金 ▲3三角成 ▼4四歩 ▲3四馬 ▼4一金 ▲6一馬  
▼4二玉 ▲4三金 まで9手 正解者：19名

## 推17 2013/6 DD++作

せわしない千日手 38手

「38手目、こうすると千日手で終局かな」

「だね、ずいぶん忙しい将棋だったよ」

「同じ地点に駒成が12回もあったからね」

「駒打ちが9回あった地点もあったかな」

「そうだね、こことこの2ヶ所あるね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第68回出題 第2番>

▲7六歩 ▼3四歩(▲2二角成 ▼同 銀 ▲3一角 ▼8八角 ▲2二角成  
▼同角成 ▲3一銀 ▼8八角 ▲2二銀成 ▼同角不成▲8八角 ▼3一銀)  
×3 まで38手  
正解者：17名

## 推18 2013/6 チャンプ作

半分は9筋の着手 12手

「さっきの12手で詰んだ将棋、半分の6手は9筋への着手だったって？」

「うん、後手の人が2手続けて王手で駒を打ってたよ。」

<詰将棋メモ 第57回出題 第3番>

▲9六歩 ♽9四歩 ▲9七桂 ♽9三桂 ▲8五桂 ♽同桂 ▲9七角  
♽同桂不成 ▲6八玉 ♽7六桂 ▲7八玉 ♽8九角 まで12手。 正解  
者：13名

## 推19 2013/7 渡辺秀行作

41飛生迄で詰み 9手

「さっきの将棋、41飛生まで9手で詰んでいたね」

「そうだね、3筋への駒打より後に5筋の着手があったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第69回出題 第1番>

▲7六歩 ♽3二飛 ▲3三角成 ♽4二銀 ▲3二馬 ♽6二銀 ▲3一飛  
♽5二金右 ▲4一飛不成 まで9手  
正解者：19名

## 推20 2013/7 チャンプ作

### 少年の将棋は?(その4) 11手

少年A「7手目に君が初めて大駒を動かした将棋、その後どうなったか教えてよ。」

少年B「どうなったと言われても、11手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「後手は6筋のみの着手で同じ駒を連続で動かすことは無かったよ。」

少年A「666・・・これは・・・。」

少年B「どうかした?」

少年A「何も思いつかなかったや(笑)」

少年B「・・・。」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

<詰将棋メモ 第69回出題 第2番>

▲7六歩 ♽6二玉 ▲7五歩 ♽6四歩 ▲7四歩 ♽6三玉 ▲7八飛  
♽6五歩 ▲7三歩成 ♽6四玉 ▲7四飛 まで11手

正解者：19名

## 推21 2013/7 鈴川優希作

プライドの代償 11手

「昨日の将棋では、相手が角不成の手を指して挑発してきた。売られた喧嘩は買う、というのが私のやり方。互いに意地を張り続けた結果、計6回も角不成が登場した。しかし、あの三段目の手が敗着で、結局は11手で詰まされてしまった。腹が立つのは奴の五段目の手だ。角の手でもないのに駒音高らかに指しやがって」

<詰将棋メモ 第69回出題 第3番>

▲7六歩 ♽4二飛 ▲3三角不成 ♽5二玉 ▲4二角不成 ♽9九角不成  
▲5三角不成 ♽3三角不成 ▲5五飛 ♽4二香 ▲4四角不成 まで11手

正解者：18名

## 推22 2013/8 しまぎろう作

金遣い 9手

- ・9手で詰んだ
- ・4手目は4筋に金
- ・6手目は5筋に金
- ・7手目は6筋に金打ち
- ・8手目は6筋に金

<詰将棋メモ 第70回出題 第1番>

▲7六歩 ♽5二玉 ▲3三角不成 ♽4二金 ▲同角不成 ♽5一金 ▲6  
一金 ♽6二金 ▲5一角成 まで9手

正解者：19名

## 推23 2013/8 NAO作

トドメは空成 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 3手目は王手
- ・ 5手目は王手
- ・ 7手目は王手
- ・ 9手目は空成

<詰将棋メモ 第70回出題 第2番>

▲7六歩 ▼7二金 ▲3三角不成 ▼4二金 ▲同角不成 ▼6二玉 ▲6  
一金 ▼5二玉 ▲5一角成 まで9手

正解者：20名

## 推24 2013/8 渡辺秀行作

4段目の角は何処? 9手

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 6手目は6段目
- ・ 7手目は5段目
- ・ 8手目は4段目に角
- ・ 9手目は3段目

<詰将棋メモ 第70回出題 第3番>

▲7六歩 ▼4二飛 ▲3三角不成 ▼5二玉 ▲4二角不成 ▼6六角 ▲5  
五飛 ▼8四角 ▲5三飛成 まで9手

正解者：19名



## 推25 2013/9 山葵茶漬け作

### マイペースな将棋指し 9手

「あれ、あそこの対局もう終わり？」  
「なんでも、先手が2手続けて空成して9手で詰んだらしい」  
「お、後手が2手続けて同じ駒を動かしたのが敗因とか聞こえるな」  
「お互い2手続けてって、どちらもマイペースだねえ」  
「しかし、一体どんな将棋だったんだろう」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第71回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △4二銀 ▲3二角 △5二金左 ▲3  
一角成 △6二金寄 ▲4一角成 まで9手 正解者：18名

## 推26 2013/9 DD++作

### 成大駒のカニ歩き 11手

「よし、この将棋2回目の龍の手で横移動だ」  
「では、この将棋2回目の馬の手も横移動だ」  
「あれ、11手で詰んじゃった？」  
「そういえば飛車の手も角の手も2回だったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第71回出題 第2番>

▲7六歩 △4四歩 ▲同 角 △4二飛 ▲5三角成 △4七飛成 ▲3一  
馬 △4二龍 ▲3二銀 △6二龍 ▲4一馬 まで11手  
正解者：14名

## 推27 2013/9 チャンプ作

### 少年の将棋は?(その10) 12手

少年A「君の将棋早く終わったみたいだけど、どんな将棋だったのか教えてよ。」

少年B「どんなと言われても、12手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「仕方がないなー、成る手は無かったけど1筋へ3種の駒の不成があったよ。」

少年A「それだけ?せめて初手ぐらい教えてよ。」

少年B「初手は7筋の手だったね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか。

<詰将棋メモ 第71回出題 第3番>

▲7八飛 △3四歩 ▲4八玉 △4四角 ▲3八玉 △1七角不成▲同 香  
▽1二飛 ▲1三香不成 △同 飛 ▲2八玉 △1八飛不成まで12手

正解者：14名

## 推28 2013/10 DD++作

### 早馬 9手

「昨日9手で詰まして勝ったんだって?」

「うん。飛車の手があったんだけどそれより前に7~9筋全てに桂馬の着手があったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

<詰将棋メモ 第72回出題 第1番>

▲7六歩 △9四歩 ▲7七桂 △9三桂 ▲8五桂 △5二飛 ▲5五角  
▽6二玉 ▲7三角成 まで9手

正解者：21名

## 推29 2013/10 chemical作

### 桂の四変化(A) 16手

A「さっきの将棋、桂不成、桂成、桂打ち、成桂の順で王手を指されたよ。」  
B「同じ将棋かな。私の将棋は6筋の手と八段目の手がそれぞれ6回あったね。」  
A「それも同じだね。5手目に左金、15手目に右金を動かした手が敗因かな。」  
B「それで、最後は、48で詰まされたよ」  
A「僕は69だよ。」  
B「え!」  
A「似てるけど、違うみたいだね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第72回出題 第2番>

▲6八金 ▽7四歩 ▲6九玉 ▽7三桂 ▲5八金寄 ▽6五桂 ▲6八銀  
▽7七桂不成 ▲7九玉 ▽8九桂成 ▲7八玉 ▽6六桂 ▲6九玉 ▽8  
八成桂 ▲5九金寄 ▽7八成桂 まで16手  
正解者：17名

## 推30 2013/10 chemical作

### 桂の四変化(B) 16手

72-2と同じ会話

<詰将棋メモ 第72回出題 第3番>

▲7六歩 ▽7四歩 ▲7七桂 ▽7三桂 ▲6八金 ▽6五桂 ▲6九玉  
▽7七桂不成 ▲5九玉 ▽6九桂成 ▲5八玉 ▽6六桂 ▲4八玉 ▽6  
八成桂 ▲3八金 ▽5八成桂 まで16手。  
正解者：14名

## 推31 2013/11 橋圭伍作

秋珊瑚 9手

「9手で詰んでいただけとどんな将棋だったの？」

「先手は自身を除く3種の駒の効きがある地点へ角生・角成・飛打の着手を指していたよ」

「後手は自身を除く3種類の駒の効きがある地点へ金を動かしたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第73回出題 第1番>

▲7六歩 ▼3二金 ▲3三角不成 ▼4二飛 ▲同角成 ▼6二玉 ▲5一  
飛 ▼5二金 ▲同飛成 まで9手 正解者：16名

## 推32 2013/11 橋圭伍作

春黄金花 9手

「9手で詰んだのを見たんだけど何があったの？」

「先手は、3種類の駒の効きがある地点に銀を打ってたよ。」

「後手は自身を除く3種類の駒の効きがある地点に飛を動かした事が2回あったんだ」

「先手が取った駒は金銀歩の3種類だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第73回出題 第2番>

▲7六歩 ▼4四歩 ▲同角 ▼5四歩 ▲7一角成 ▼6二飛 ▲7二銀  
▼4二飛 ▲6一馬 まで9手  
正解者：14名

推33 2013/11 チャンプ作 余詰

少年の将棋は？(おもちゃ箱限定ver) 13手

少年A「君の将棋早く終わったみたいだけど、どんな将棋だったのか教えてよ。」

少年B「どんなと言われても、王手が3回あって13手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「仕方がないなー、じゃあ3回あった王手の内容を教えてあげるよ。」

少年A「そうこなくっちゃ！・・・って、これいつものパターン？」

少年B「○四角の王手があった」

「○五角の王手があった」

「○六角の王手があった」

少年A「一応聞くけど、どっちの王手かは教えてくれないんだよね？」

少年B「全て僕（先手）の王手だったけど？（笑）」

少年A「あれ？じゃあ後手は一体何をしてたのかな？」

少年B「相手(後手)は最初から4手連続全て異なる段へ着手してたよ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第73回出題 第3番>

▲7六歩 ♽3四歩 ▲2二角不成 ♽4二玉 ▲1三角不成 ♽3三玉 ▲  
3五角不成 ♽1五香 ▲4四角 ♽2四玉 ▲3五角 ♽1四玉 ▲3六角  
まで13手

正解者：14名

## 推34 2013/12 チャンプ作

### 今年の運勢は？ 11手

「元旦に指した将棋どうだったの？」

「11手で詰まして勝ったよ。」

「元旦に11で勝つとは洒落てるね。他には？」

「26馬という手があったかな。」

「26年午年に26馬とは縁起がいいね。他には？」

「初王手で駒柱が完成したよ。」

「えっ？新年早々駒柱って・・・。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第74回出題 第1番>

▲7六歩 △4四歩 ▲同 角 △5二玉 ▲5三角不成 △4三玉 ▲7一角成 △3四玉 ▲2六馬 △2四玉 ▲2五銀 まで11手

正解者：21名

## 推35 2013/12 渡辺秀行作

### 馬遊び 11手

「1月1日から11手で相手を詰めるのは縁起がいいね」

「お互い馬で遊び合って合計5回も馬移動があったよ」

「その中には1筋の着手もあったらしいね」

「そうだよ、歩以外の駒が取られることはなかったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第74回出題 第2番>

▲7六歩 △6二玉 ▲3三角成 △5一金左 ▲2三馬 △7七角成 ▲6八飛 △6七馬 ▲4一馬 △1二馬 ▲6三馬 まで11手

正解者：19名

## 推36 2013/12 はなさかしろう作

### 2611馬 11手

「謹賀新年、あけましておめでとう。指し初めしてきたよ」

「賀正賀正、おめでとうさん。今年も熱心だね。で、どんな将棋だったの？」

「元日らしく、11手で詰んだよ。それから、先手の着手は全て異なる筋だったな」

「なるほど、指し初めにふさわしい一局というわけだね。それから？」

「金の手は2回全てが一段目だったよ。それから、大駒の手は6回全てが盤上の手だった」

「ふむ。つまり、大駒を打つ手はなかったってことだね。でも、それだけでは手順がわからないし、今年にちなんだ一局という気もしないけど」

「えっ？ 今年は平成26年だから、2と6を織り込んでみたんだけどなあ。それならとっておき、馬の手で締め括ったんだけど、これでどうかな？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第74回出題 第3番>

▲7六歩 ▼5二玉 ▲3三角不成 ▼5一金右 ▲同角不成 ▼4四歩 ▲  
1五角成 ▼3三角 ▲6一金 ▼4二角 ▲2五馬 まで11手

正解者：18名

## 推37 2013/12 斧間徳子作

### うま年の指し初め局 11手

「昨日の指し初めの一局、あっという間に君が勝ったんだね」

「うん、11手目の初王手で相手玉を詰ましたよ」

「投了した局面を見たけど、相手の駒台には何もなくて、君の駒台には角と歩が1枚ずつあったね」

「うん、完勝だったよ」

「どんな将棋だったの？」

「うま年だからって訳じゃないけど、馬の手が5回もあったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第74回出題 第4番>

▲7六歩 △5二玉 ▲3三角成 △5四歩 ▲3二馬 △8八角成 ▲3一馬  
△4四馬 ▲6二銀 △5三馬 ▲同 馬 まで11手

正解者：20名

## 推38 2013/12 NAO作

### 26には勝負手を放つ 11手

「今年の指し初めの一局はどうだった。馬の手が1回だけあったそうだけど」

「そうなんだ。玉が動いたから馬で王手をかけたんだけど、馬は玉に取られちゃった。でも、最後は11の手で11手で詰ませて勝ったよ」

「どんな手を使ったんだい？」

「好手を発見して、26地点に勝負手を放ったんだ。それが勝因だよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？そして26年、貴方の勝負手は？

<詰将棋メモ 第74回出題 第5番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △3二銀 ▲1一角成 △4二玉 ▲3三馬  
△同 玉 ▲2六香 △4二角 ▲1一角 まで11手

正解者：17名



## 推39 2013/12 諏訪冬葉作

### 26年の将棋 11手

「今年の年明けにふさわしい将棋を指してきた」

「どんなの？」

「11手で勝ったんだけど後手玉が5段目まで上がってきたんだ。初日の出みたいだろ」

「それはちょっと無理がないか？」

「こっちは馬を作る手と桂馬の手を続けて指したんだ。午年らしいだろ」

「まあそれはわかる」

「あとは2014年で平成26年だから最初の2手は26と14の手だった」

「・・・最初の初日の出はいらなかったんじゃないか？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第74回出題 第6番>

▲2六歩 ♽1四歩 ▲7六歩 ♽4二玉 ▲3三角成 ♽同 玉 ▲7七桂  
♽2四玉 ▲2五歩 ♽1五玉 ▲1六歩 まで11手

正解者：21名

## 推40 2013/3 橘圭伍作

### 右往左往！？ 23手

A「32歩同龍41金同龍61金迄23手で詰んだ将棋はどうだったの？」

先手「一つの駒で2種類合計8枚の駒を取って駒得したから勝ったと思ったよ。でも、5筋で駒を取る事はなかったよ」

後手「41金と61金の2回王手されたけど、他に王手の手はなかったよ」

A「もう少し教えて欲しいんだけど…」

後手「一局を通して駒打ちは3回だけで、歩の着手は2回だけだったよ」

さて、これはどんな将棋だったのでしょう？

<第51回WFP作品展 51-4>

76歩 42飛 33角成 62金 23馬 61玉 41馬 32飛 63馬 51玉 73馬 41玉 83馬 61金  
同馬 37飛成 43馬 51玉 32歩 同龍 41金 同龍 61金 まで 23手 正解者：4名

## 推41 2013/5 橘圭伍作

### 帰巢本能 19手

A「19手で終わった将棋はどんな将棋だったの？」

先手「僕はたった一つの駒を動かしてただけだったんだけど気付いたら勝ってたよ」

後手「18手目に、小駒の成駒を動かしたらその駒を最終手で取られて詰まされたんだ」

A「うーん、それだけじゃ分からないよ」

後手「僕は2手目に52玉と指したよ」

A「それでどんな将棋が分かったよ！」

さて、どのような将棋だったのでしょうか？

<第53回WFP作品展 53B-6>

96歩 52玉 95歩 64歩 94歩 63玉 93歩成 74玉 83と 98香成 93と  
85玉 94と 96玉 95と 87玉 96と 97杏 同と まで 19手 正解者：3名

## 推42 2013/5 一乗谷酔象作

### 泣く金、マネーゲーム 79手

- ・「マネーゲームに手を出したって。危ない奴だなあ」
- ☆『真似将棋の相手をしただけだよ』
- ・「初めのうちは、不況だから景気を様子見てから、慎重に商品(タマ)を比較した上でお金を銀行に預けていたのに」
- ☆『初手から歩香桂、玉飛角金銀の順に8種の駒を一回ずつ動かしたんだ』
- ・「後に不況が続いた後、景気が跳ね上がったから、今度はすぐ銀行の金を大きく動かしたね」
- ☆『後で歩香桂銀金の順に小駒を一回ずつ動かし、その直後に大駒を動かす一連の手順があっただけだよ』
- ・「連夜に金を動かしたって」
- ☆『金寄りの手は連続した2回だけで、他に連続して金を動かす手順はなかったよ』
- ・「空売りを2回やって、頭に来て金を動かしたって」
- ☆『空成りの手が2回あっただけだよ。2回目空成りのすぐ後に玉頭の歩を突いてから金を動かしたけど』
- ・「箸も付けなくて一人で動き続けたんだって」
- ☆『一つの駒を8回続けて動かした直後、端の手を指しただけだよ』
- ・「それなのに太ったんだって」
- ☆『駒取りは歩取りが2回あっただけだよ』
- ・「全ての物事は一歩ずつ地道に進めないと痛い目に会うよ」
- ☆『盤上にある自分の歩を全て右の筋から左の筋の方に順番に各筋1路ずつ前進させる一連の手順もあったよ』
- ・「せっかく稼いできた金が泣くよ。マネーゲームから早く抜け出さないよ」
- ☆『79手で79箇所着手して79金迄。真似将棋は先手が勝ったよ』

さて、どのような将棋だったのでしょうか？

<第53回WFP作品展 53B-7>

96歩 14歩 98香 12香 97桂 13桂 68玉 42玉 38飛 72飛 99角 11角  
48金 62金 28銀 82銀 85桂 25桂 73桂生 37桂生 61桂成 49桂成 33  
飛生 77飛生 39飛成 71飛成 66歩 44歩 58金上 52金上 16歩 94歩  
26歩 84歩 46歩 64歩 56歩 54歩 65歩 45歩 86歩 24歩 95歩 15歩  
18香 92香 17桂 93桂 88銀 22銀 59金 51金 29龍 81龍 57玉 53玉  
47玉 63玉 36玉 74玉 35玉 75玉 34玉 76玉 43玉 67玉 32玉 78玉  
21玉 89玉 19銀 91銀 27龍 83龍 87龍 23龍 69金 41金 79金 まで  
79手 正解者：2名

## 推43 2013/6 一乗谷酔象作

### 81格巡り 81手

「全国行脚の旅もいよいよ終盤だ。ここまでの旅路を振り返ってみよう」

「長旅は最初が肝心。歩を進める前に自陣の整備から始めましたね。最初は歩以外の駒を10回動かす、そのとき着手した筋は左の方から右の方に移っていきました。一つの駒を3連続動かす手もありました」

「そうだ。歩の手は慎重に指した。先手の最初の歩の手は21手目、2回目の歩の手は29手目だった。その後に、異なる7つの筋の歩を左側から右側の順に続けて1路ずつ進める一連の手順もあった」

「こんな一連の手順もありました。先手は一つの駒を3回続けて動かした直後に4回続けて一つの駒を動かす、さらにその直後、5回続けて一つの駒を動かしました」

「この将棋、駒を取る手もなく先手の不成は1回だけだった。そして、君はこれまでずっと私の指し手を真似して、あとをついてきてくれた。感謝するよ。でも、真似将棋とはこれでお別れだ。次は先手番の79手目。中央の手を指すから後手の最終着手は自力で最善手を発見してごらん」

「それでは、80手目はここに・・・」

「そうくるか。じゃあ81手目は81地点の手を指して詰んでるね。しかも81全格巡りを達成だ」

81格巡りとはどのような将棋でしょうか？

会話を元に手順を推理してください。

<第54回WFP作品展 54-11>

98香 12香 78金 32金 68飛 42飛 69飛 41飛 58金 52金 48銀 62銀  
49玉 61玉 39玉 71玉 38玉 72玉 18香 92香 96歩 14歩 97角 13角  
88銀 22銀 99銀 11銀 56歩 54歩 31角成 79角成 75馬 35馬 95歩  
15歩 86歩 24歩 76歩 34歩 66歩 44歩 46歩 64歩 26歩 84歩 16歩  
94歩 47玉 63玉 77桂 33桂 85桂 25桂 93桂生 17桂生 65馬 45馬  
83馬 27馬 82馬 28馬 91馬 19馬 59飛 51飛 89飛 21飛 87飛 23飛  
67飛 43飛 57飛 53飛 36歩 74歩 37桂 73桂 55歩 29桂成 81馬 ま  
で 81手 正解者：2名

## 推44 2013/8 DD++作

### 午後のマネ将棋 55手

「昨日午後、道場で指してたら真似将棋を仕掛けられたんだ」

「それって1手負けるだけだと思うんだけど。でも君のことだ、ただでは済まされなかつたんだろう？」

「ああ、もちろん屈辱的になるよう55地点の手で詰ませたよ。それも55手目にして55ヶ所目の着手だった」

「あいかわらず君は意地が悪いなあ。どんな手順だったんだい？」

「駒取りはなかったね。着手した駒は5種の生駒だけで、最終手以外は安い順に着手したよ。歩は互いに自分から見て右側にあるものから順に着手して、玉の手は歩の手より多かった。飛車の手は縦に動く手が横に動く手より4手多かったね。さあこれでわかるだろう？」

「……あいかわらず君は意地が悪いなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか。

<第55回WFP作品展 55-14>

16歩 94歩 26歩 84歩 36歩 74歩 35歩 75歩 34歩 76歩 56歩 54歩 66歩 44歩 96歩 14歩 68銀 42銀 57銀 53銀 46銀 64銀 79角 31角 27飛 83飛 28飛 82飛 18飛 92飛 17飛 93飛 37飛 73飛 38飛 72飛 48玉 62玉 59玉 51玉 58玉 52玉 67玉 43玉 78玉 32玉 88玉 22玉 98玉 12玉 97玉 13玉 86玉 24玉 55銀 まで 55手 正解者：3名
---

## 推45 2013/9 一乗谷酔象作

### 堂々巡りの果て 56手

「全駒で勝ったよ。

たったの56手で詰ましちゃった」

「ホントかい？どんな将棋だったんだい」

「動いた金は全て大駒に取られたし、不成の手は1回だけだったよ。後手の角が動き出す前に先手の駒打ちが3回もあって序盤は先手ペースで進んだ。なんとか、打たれた駒は全部『同X』で取ったけどね」

「相手は抵抗しただろ」

「ああ、先手は指し手の順番に不思議なこだわりがあって、先手の大駒着手は必ず歩突きと歩突きの間だった。『歩を突く手、大駒の手、歩を突く手』の順番で指したってことだ。癩に障ったから、歩も大駒も全部『同X』で取ったけどね」

「相変わらず君は意地悪いな。それから？」

「もう一つ、先手の金の着手は必ず『歩を突く手、香の手、金の手』の順番に指してきたんだ。歩も香も金も全部『同X』で取ったけどね」

「全く強欲な奴だな。まだあるんだろ？」

「強いて言えば4手目から最後まで後手は『同X』の手を指し続けたってことかな」

さて、どんな将棋だったのだろうか。

<第56回WFP作品展 56-14>

76歩 32飛 33角成 同飛 36歩 同飛 16歩 同飛 26歩 同飛 13香成 同桂  
25歩 同桂 17歩 同香成 同桂 同桂成 32香 同銀 66歩 同角 75歩 同角  
96歩 同飛 23飛成 同銀 46歩 同飛 93香成 同桂 48金 同飛生 28歩 同圭  
同銀 同飛成 85桂 同桂 97歩 同桂成 同桂 同香成 88桂 同杏 同銀 同龍  
86歩 同龍 56歩 同龍 57香 同角成 58金 同馬 まで 56手 正解者：0名

## 推46 2013/10 一乗谷酔象作（修正）

### 人生いろいろ 66手

「完敗だ。駒をぼろぼろ取られて66手で負かされたよ。途中、大駒を2枚取られたとき先手陣には未だ小駒が5種類残っているから勝負はこれからと思ったんだけど・・・」

「何枚ぐらい駒を取られたの？」

「連続王手で16枚も取られたよ。16回目の王手では初手に動かした駒を取られた。このとき玉は5段目にいたんだけど、王手に対する応手は5筋の手だった」

「そんなに駒を取られて未だ投げずに粘ったのかい？」

「そうなんだ。でも取る駒がなくなった後、今度は16回続けて駒を打つ連続王手をかけられて結局詰まされたよ。連続して打たれた金は取り返して終図には残らなかった。でも、銀頭に3回打たれた手がきびしくてしびれたね。銀頭の3枚はいずれも終図に残っていたしね」

「それは残念。いくら打たれ強い君でも粘りきれなかったか。人生いろいろ、王手もいろいろあるね」

さて、どんな将棋だったのでしょか？

<第57回WFP作品展 57-11>

98香 34歩 36歩 77角成 58玉 67馬 48玉 49馬 37玉 27馬 46玉 28馬 37桂 同馬 45玉 36馬 56玉 47馬 67玉 57馬 78玉 79馬 77玉 88馬 67玉 89馬 78金 同馬 76玉 87馬 75玉 97馬 65玉 98馬 56玉 65銀 55玉 66角 45玉 44香 34玉 35金 23玉 24金 同玉 23歩 同玉 22歩 24玉 32桂 35玉 34歩 同玉 33歩 43玉 42歩 53玉 52歩 63玉 64飛 同玉 63歩 同玉 62歩 64玉 72桂 まで 66手 正解者：1名
---



## 推47 2013/10 一乗谷酔象作

### 明日があるさ 70手

「駒をぼろぼろ取られた後べたべた打たれて70手で負かされたよ」

「何枚ぐらい駒を取られたの？」

「連続王手で17枚も取られたよ」

「そんなに駒を取られて未だ投げずに粘ったのかい？」

「そうなんだ。でも、取る駒がなくなった後、今度は17回続けて駒を打つ連続王手をかけられたんだ。初手の着手地点に飛車を打たれる手もあった。最後詰まされたとき一つの筋には駒が8枚もあった」

「残念な一局だったね。でも、駒柱詰を免れたのがせめてもの救いだ。明日があるさ」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？

<第57回WFP作品展 57-12>

46歩 34歩 36歩 77角生 68銀 同角生 48玉 57角生 47玉 46角成 58  
玉 36馬 68玉 69馬 77玉 87馬 66玉 88馬 77桂 同馬 57玉 67馬 48  
玉 49馬 37玉 27馬 46玉 28馬 47玉 29馬 37玉 19馬 28銀 同馬 26  
玉 17馬 同玉 18金 26玉 17銀 25玉 16銀 34玉 35金 43玉 42歩 53  
玉 64角 63玉 62歩 64玉 72桂 55玉 54歩 同玉 53歩 同玉 52歩 44  
玉 46飛 35玉 34歩 同玉 33歩 23玉 22歩 24玉 12桂 15玉 14香 ま  
で 70手 正解者：0名

## 推48 2013/7 萩絵香木作

### 王手が9割 第1問解答 87479手

「推理棋神戦の決勝戦、見たかい？凄いい熱戦だったね」

「王手王手の応酬がすさまじい将棋だった。なにしろ、着手の9割は王手だったからね」

条件

1) 実戦初形から指し始めて、王手率が90%以上に達して詰んだ。

2) 同一局面なし

はたして解はあるのだろうか？

<WFP61号 王手が9割 第1問 >

解はWFP65号をご覧ください

## 推49 2013/7 DD++作

### 王手が9割 第1問解答 720手

問題文は推45と同じ

<WFP61号 王手が9割 第1問 >

解はWFP65号をご覧ください

## 推50 2013/7 一乗谷酔象作

### 王手が九割詰(成禁) 800手

【条件】

- 1) 実戦初形から指し始め、途中図を經由して、800手で詰んだ。途中図は64手目46角まで(33回目の王手から逃れた局面)
- 2) 同一局面なし
- 3) 成る手なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	桂						桂		一
									二
	歩	歩		歩		歩	歩	歩	三
		飛		角	王				四
									五
		歩		王	角		飛		六
	歩	歩		歩	歩	歩		歩	七
									八
	桂								九

持駒 金3銀3香3歩3

(途中図)

<WFP61号 王手が9割 第2問 >

解はWFP65号をご覧ください 正解者：0名

## 推51 2013/7 一乗谷酔象作

### 王手が九割詰 570手

【条件】

- 1) 実戦初形から指し始め、途中図を経由して、570手で詰んだ。途中図は98手目44同玉まで(67回目の王手から逃れた局面)
- 2) 同一局面なし

										9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								桂			桂									一
																				二
										歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩		三
											飛		角	王						四
												歩		王	角	飛				五
										歩	歩		歩	歩	歩			歩		六
																				七
																				八
											桂									九

持駒 金3銀3香3歩3

(途中図)

<WFP61号 王手が9割 第3問 >

解はWFP65号をご覧ください 正解者：0名

## 推52 2013/6 渡辺秀行作

「先刻の9手で詰んだ将棋、55にも87にも着手があったよね」

〈WFP5周年記念コンクール 推1〉

76歩 42飛 33角生 52玉 42角生 88角成 55飛 87馬 53飛成 まで 9手  
正解者：3名

## 推53 2013/6 渡辺秀行作

「先刻の9手で詰んだ将棋、17に不成の手があったよね、兄さん」

「23と61にも着手していたよ、弟よ」

〈WFP5周年記念コンクール 推2〉

76歩 72金 33角成 61玉 23馬 44角 41馬 17角生 52金 まで 9手 正  
解者：4名

## 推54 2013/6 橘圭伍作

「23飛成42角63馬迄13手で詰んだ将棋はどんな将棋だったの？」

〈WFP5周年記念コンクール 推3〉

76歩 62玉 33角成 72玉 43馬 44角 26歩 同角 53馬 15角 23飛成  
42角 63馬 まで 13手 正解者：3名

## 推55 2013/6 DD++作

「眠れぬ獅子」

「——まで、第五期迷人戦は12手で迷人が挑戦者玉を詰ませて迷人位を防衛しました。この将棋を振り返ってどうでしょうか先生」

「興味深い手がたくさんありましたね。この44の手、この44の手、あとはこの44の手やこの44の手も研究してみたい手です」

「その中でも勝敗を分けた1手はどれになるのでしょうか」

「それはこの4手のどれでもなく、11手目の『44角成』ではないでしょうか。これで急に先手大変になりましたね」

〈WFP5周年記念コンクール 推4〉

76歩 44歩 同角 42飛 53角生47飛生 44歩 同飛生 48金 同飛生 44角成  
49金 まで 12手 正解者：3名

## 推56 2013/6 渡辺秀行作

「さっき、僕が見た着手は初手の68の着手

と89の着手だったよ」

「89の着手は何手目だけ？それにしても10手で詰んだというのに同桂の着手が出るとは驚きだ」

〈WFP5周年記念コンクール 推5〉

68玉 34歩 76歩 88角生 78玉 99角成 68飛 77香 同桂 89角 まで10  
手 正解者：3名

## 推57 2013/6 DD++作 余詰

「或る数学者と推理将棋」

「 $32+45+51+76=9$ 、と」

「なんだいそれは。通常 of 自然数体上の演算ではなさそうだが」

「ええ、まあ特殊な数式ですから」

「その加法はアーベル群なのかい？」

「あ、あーべるぐん……なんですか、それ」

「わからないか。では、その加法は可換かという問いなら理解できるか？」

「順番を変えてもいいかということですか？それは問題ありませんが……」

「ふむ、そうか。なるほど仮にこれが剰余群だとすればその位数は195の約数のいずれか……いや、76が存在するから195そのものか。195=3×5×13であるからして  $Z/195Z$  の性質は……ブツブツ——」

（32の手と45の手と51の手と76の手があって9手で詰んだってというただの推理将棋の問題なんだけどなあ）

<WFP5周年記念コンクール 推6>

76歩 42玉 33角生32玉 51角成 44歩 61馬 45歩 43金 まで 9手

## 推58 2013/12 ミニペロ作 余詰

2014年 馬年 年賀推理 14手詰

- ・最終14手目は、端へ「馬」の着手で「単騎詰」
- ・先手の着手は初手に5筋、次に4筋、次に3筋
- ・成る手は2回で不成り無し

<2014年年賀詰作品展 第4番>

58玉 34歩 48飛 77角成 36歩 55馬 56歩 19馬 11角成 54香 55歩  
同馬 68香 11馬 まで 14手



## 推59 2013/12 一乗谷酔象作

### 109通りの王手

博士「王手の種類の多い1手詰を考えてみよう。何通りぐらいできる？」

助手「50通りぐらいですか？」

博士「いや、もっと多いよ。よく考えてごらん。」

助手「あっ、そうか。80通りは楽に越えそうですね。頑張れば90通りも越えるかも」

博士「100通りを越せないかな？ちょっと考えてみなさい」

助手「はい。がんばります。博士」

後日・・・

助手「博士。できました」

博士「そうか、100通りができたか」

助手「いいえ。109通りです」

博士「ほんとか。それはすごい。持駒には何枚使ったの」

助手「持駒は3種類で6枚だけです」

博士「ちょっとそれを将棋盤に並べてくれないか」

助手「それでは・・・っと」

助手が並べはじめ盤面に、と金を12枚おいたところ【図1】で・・・

【図1】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
ス										と
ス										と
ス										と
ス										と
ス										と
ス										と
										七
										八
										九

持駒 先後合わせて3種6枚

博士「ひょっとして成駒はと金だけかな」

助手「はい、そのとおりです」

博士「なるほど、わかったよ。手番が先手番でも後手番でも王手をかけると

必ず1手詰になるね。よくやったな。王手種類が109通りの1手詰の完成だ。おめでとう」

助手「ありがとうございます」

さて、王手種類109通りの1手詰とはどのような駒配置でしょうか？  
二人の会話を元に推理してください。

解答図

後手：持駒なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	ス				と	と		と	と	
二	ス			科		科	王		と	
三	ス			皇					と	
四	ス		皇	ス		香	銀	銀	と	
五	ス					ス	桂	桂	と	
六	ス		銀	王		ス			と	
七					飛					
八		飛								
九	角						角			

持駒 金4銀香

<王手をかけると1手詰 第1問> 正解者2名

推60 2013/12 一乗谷酔象作

王手110越え

助手「博士。王手の種類が増えました」  
 博士「そうか、110通りができたか」  
 助手「いいえ。110を越えました」  
 博士「ほんとか。それはすごい。ちょっとそれを将棋盤に並べてくれないか」  
 助手「それでは・・・っと」  
 助手が並べはじめ盤面に、5枚おいたところ  
 【図2】で・・・  
 【図2】

										一
								皇		二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 先後合わせて 4種 7枚

博士「ひょっとして成駒はと金だけかな」

助手「はい、そのとおりです。そして、持駒は4種類で7枚です」

博士「ふむ、なるほど・・わかったよ。手番が先手番でも後手番でも王手をかけると必ず1手詰になるね。王手種類は112通りだね。よくやったな。おめでとう」

助手「ありがとうございます」

さて、王手種類112通りの1手詰とはどのような駒配置でしょうか？ 二人の会話を元に推理してください。

解答図

										一
								皇		二
								王		三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 金4銀桂香

<王手をかけると1手詰 第2問> 正解者2名

## 推61 2013/12 一乗谷酔象作

### 王手が200種

博士「今度は駒数を制限しないで王手の種類の多い1手詰を考えてみよう。何通りできるか予想してごらん」

助手「150通りぐらいですか？」

博士「いや、もっと多いよ。ちょっと考えてみなさい」

助手「はい。がんばります。博士」

30分後・・・

助手「博士、できました。ちょうど200通りです」

博士「ほんとか。小駒は何枚使ったの？」

助手「盤上にはゼロです。先手持駒は飛角金銀桂香の六種で後手持駒はなしですね」

博士「じゃあ成駒は何枚使ったの？」

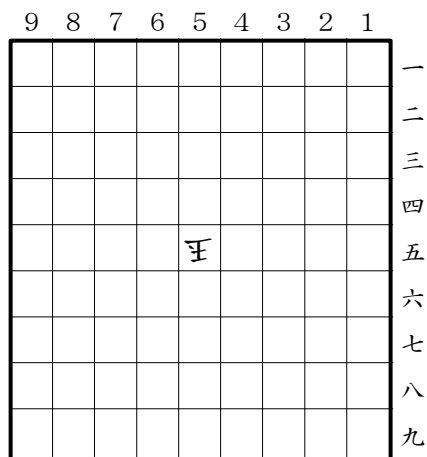
助手「成駒は、龍13枚と馬10枚の合わせて23枚です」

助手が並べはじめ盤面に、玉をおいたところ

【図3】で・・・

【図3】

後手：持駒なし



持駒 飛角金銀桂香

博士「なるほど、王手をかけると必ず1手詰になるね。王手の種類はちょうど200通りだね」

(第4問に続く)

解答図

後手：持駒なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	馬			龍	龍	龍			馬	
二		飛						飛		
三	馬				角				馬	
四	龍								龍	
五	龍			角	王	角			龍	
六	龍								龍	
七			飛				飛			
八	馬			龍		龍			馬	
九	馬		馬	龍		龍	馬		馬	

持駒 飛角金銀桂香

<王手をかけると1手詰 第3問> 正解者1名

## 推62 2013/12 一乗谷酔象作

### 王手が200越え

博士「王手種類が200通りとはよくやったけど成駒がちょっと多いね。小駒を増やして成駒を減らせないかな」

後日・・・

助手「博士、できました。小駒は盤上に金銀桂香歩各2枚使用で合計10枚。成駒は龍1種類だけで8枚です」

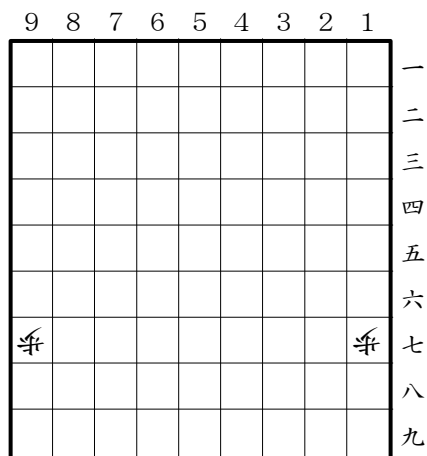
博士「ほんとか。それはすごい。ちょっとそれを将棋盤に並べてくれないか」

助手「それでは・・・っと」

助手が並べはじめ盤面に、歩を2枚おいたところ【図4】で・・・

【図4】

後手：持駒なし



持駒 飛角金銀桂香

博士「なるほど、わかったよ。王手をかけると必ず1手詰になるね。おっと、王手種類も増えたようだね」

助手「はい、206通りです」

博士「よくやったな。王手種類最大の1手詰の完成だ。おめでとう」

助手「ありがとうございます」

さて、王手種類206通りの1手詰とはどのような駒配置でしょうか？二人の会話を元に推理してください。

解答図

後手：持駒なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	角		料	飛	飛	飛	料		角	
二	皇	飛						飛	皇	
三	角				角				角	
四	龍								龍	
五	龍			角	王	角			龍	
六	龍								龍	
七	料		飛				飛		料	
八				龍		龍				
九	角	料	料	龍		龍	料	料	角	

持駒 飛角金銀桂香

<王手をかけると1手詰 第4問> 正解者1名